

# 敷島地区地域福祉活動計画

## 敷島地区

昭和町一丁目、昭和町二丁目、昭和町三丁目、平和町一丁目、  
平和町二丁目、住吉町一丁目、住吉町二丁目



＜支え合い活動＞



＜ザスパ群馬との連携事業＞

地縁とITのコラボで  
住民がつながり、活躍でき、  
安心して暮らせるまちづくり

## めざす地区の将来像

地域と事業所・企業が協力しながら、多世代の交流を深める地域  
IT技術を取り入れた見守りの実践が進む地域  
若者も高齢者も主体的に活動できる支え合いの地域

## 地区の情報

さまざまな側面から福祉のまちづくりを推進しています。

高齢者を中心とした居場所として全町でふれあいいきいきサロンが開催されています。

子ども向け事業の推進にも力を入れており、ザスパ群馬と連携したイベントを実施しています。

また、世代間交流事業として、地域づくり協議会主催のグラウンドゴルフ大会や、地区社協と企業や施設が連携したイベント、あおぞらカフェにも力を入れています。多様な世代が主体的に地域活動へ取り組むことで、住民同士でちょっとした困りごとを解決したり、IT技術を活用した見守り・支え合いシステムの構築など、住民全体がつながる地域を目指しています。

## 地区の課題

### 担い手の不足

市内でも高齢化率が高く、地域活動を支える担い手の高齢化も進んでいる。

### 子ども向けの活動が縮小

担い手が不足しているため育成会を組織できない町もあり、イベントの開催が困難になっている。

### デジタル活用による情報格差

スマートフォン等を使いこなせる人とそうでない人との間で、情報伝達に格差が生じている。

## 取り組むこと

### 新たな担い手の発掘

アクティブシニアや小中高校生などの人材を発掘し、住民同士の支え合い活動を充実させる

### IT活用による見守り・支え合い活動の活性化

現行の見守りを基盤としつつ、若い世代と連携することで、情報格差をなくしながらITの普及を進め、見守りや支え合いを強化する

### 各種団体の連携強化

既存の活動に若い世代や子どもを巻き込み、幅広い世代が協力し合って事業を検討する  
親世代が中心となって子ども向けの事業を検討し、地区全体で支える環境を育む